

# 訪問介護事業所 暖-はる-

## 原動力は過去の嬉しかった経験



△メインで話をさせていただいた、キャリア20年の坂井さん

訪問介護事業所 暖-はる-は、現在、常勤3名、非常勤1名の合計4名で活動しています。介護職はイメージとのギャップや魅力が分からずに辞めていく人が多い職種ですが、「介護ってこんなに楽しいんだ」と思って貰えるような職場を目指しています。子供がいる職員もいるため、働きやすい環境作りに配慮し、日々活動しています。

## 介護職の魅力とは

- 坂井さん**：介護職は大変なことも多いけれど、その中で感じられる「嬉しさ」が魅力なのではないでしょうか。初めての職場での話になりますが、サービス拒否がとても強い利用者さんがいました。最初は中々対応をさせてもらえず、辛いときもありましたが、何度拒否をされても粘り強く接していたところ、次第に受け入れてくれるようになり、とても嬉しかったことを今でも覚えています。こういった「嬉しさ」が介護職の魅力でもありますし、今の私の原動力となっています。
- 大澤さん**：介護職は、利用者さん一人一人が人生の主人公として、より良い人生を過ごすために必要な支援を提供する仕事です。人の人生に寄り添う仕事ですので、介護の仕事を通して「一人の人間として大きく成長できること」が最大の魅力かと思います。
- 有涼さん**：利用者さんの生活や、これまでの生き方を知ることで、何通りもの関わり方が出てくるところが魅力です。
- 堀さん**：介護職は未経験で、まだ仕事を始めたばかりですが、今まで気にも留めなかったものを見ることができたり、聞けたりすることでしょうか。例えば、利用者さんにぴったりの福祉用具や補装具を目にすることができたりと、介護職に関わっていなければ知らなかったものを知ることができます。

## 今までで1番嬉しかった経験

- 坂井さん**：重度の認知症を患っており、誰が対応しても拒否の強い方がいました。その方が私の介助だけは受け入れてくれたり、私を頼ってくれたりしたことは嬉しかったですね。他にも、訪問介護の利用者さんに「手伝って貰えるようになったから今まで通りの生活が続けられる」と言って喜んで頂けた時は、疲れも吹き飛ばすほど嬉しかったです。
- 大澤さん**：周りから「対応できない」と思われていたケースを対応し、利用者さんが望む援助ができるようになったことが嬉しかったです。
- 有涼さん**：サービス利用の卒業が嬉しいです。卒業は寂しいけれど、「自分でできるようになった」と笑顔が見れたことはとても嬉しかったです。
- 堀さん**：限られた時間内ではありますが、利用者さんと一緒に買い物をして、調理をして、たくさんの会話ができることでしょうか。私の事を覚えてくれたり、前回の訪問時に話した内容等を覚えていてくれたりすると嬉しく思います。

## 今後の目標

- 坂井さん**：利用者さんが普段通りの生活を送れるように、少しでも力になりたいと思っています。また、仕事が忙しくなると基本的なことを忘れがちになってしまいますが、基本を忘れないようにしていきたいです。
- 大澤さん**：登別市のように過疎高齢化が進む地域では、地域包括ケアシステムが重要になってきます。その要ともいえる訪問介護事業で少しでも多くのケースに対応できるように精進していきたいです。
- 堀さん**：できないからやらないではなく、利用者さんに「できるかもしれない」「やってみよう」と思って貰えるように、成長していきたいです。

運営法人 合同会社助っ人

住所 登別市桜木町1丁目8番地15

電話番号 0143-83-6300



△左から大澤さん、坂井さん、有涼さん、堀さん